

令和5年度事業計画

《概 要》

北九州市においては、『元気発進！北九州プラン』の中で、暮らしを彩るため、「生活に根づき、誇れる文化・スポーツの振興」を目標に掲げ、芸術・文化の振興を図ることとしている。

また、この『元気発進！北九州プラン』の部門別計画である「北九州市文化振興計画」では、「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」を基本理念として、取り組むこととしている。

これを受けて当財団は、市民の多様な芸術文化ニーズに対応し、優れた芸術文化に接する機会を提供すること、芸術文化を通して青少年の育成をはかること、市内外に向けて芸術文化情報の発信に努めることなど、様々な公演事業や育成事業、情報提供事業等を実施し、芸術文化の振興と芸術文化を核としたまちづくりを目指していく。

また、併せて北九州芸術劇場等の芸術文化施設の管理運営や文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査を行う。

さらに、文化に関する情報を広域かつ幅広い層に発信し、地域文化の振興に寄与していく。

文化創造事業の実施

当財団が、令和元年度から5年間の指定管理者として運営する北九州芸術劇場、北九州市立響ホール、北九州市立大手町練習場の3つの芸術文化施設等を中心に、市民の多様な芸術文化ニーズに対応した公演事業や育成事業を実施し、芸術文化の振興に寄与する。

1 舞台芸術の振興

北九州市の舞台芸術の拠点施設である北九州芸術劇場において、「創る（創造事業）」「育つ（学芸事業）」「観る（公演事業）」「支える（支援事業）」をコンセプトに、市民の多様なニーズに対応した事業を実施する。

(1) 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を制作し、公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
北九州芸術劇場クリエイション・シリーズ 「新作（タイトル未定）」	[オーディション等] 北九州芸術劇場創造工房 5月13日(土)～15日(月) [美術ワークショップ] 北九州芸術劇場創造工房 5月27日(土)～28日(日) [劇作家ワークショップ] 黒崎商店街 6月3日(土)～4日(日) [公演] 北九州芸術劇場小劇場 10月26日(木)～29日(日) 5公演 東京芸術劇場シアターイースト 11月4日(土)～5日(日) 3公演	劇場と第一線で活躍するアーティストとが2年間のタッグを組み、オリジナル作品を創作するシリーズの第2弾。地域の人々や表現者と交流しながら“地域を知る”1年目、1年目に得た創作の種をもとに“作品を創作・上演する”2年目、のうち2年目。 【クリエイションパートナー】 作・演出：松井周（サンプル）
ローカルアーティスト協働プログラム	[ワークショップ] 市内施設（市民センター等） 4月～12月 [リサーチ] 市内各所 10月～12月	劇場と地域で活躍するアーティストとが2年間協働し、オリジナルの市民参加作品を創作する新シリーズ。舞台芸術の力を活用し“市民との交流や体験を行う”1年目、1年目の活動をもとに“市民と共に作品を創作・上演する”2年目、のうち1年目。 【ローカルアーティスト】 太めパフォーマンズ（乗松薫、鉄田えみ）

<p>市民とつくる演劇2024 キタゲキ劇団公演</p>	<p>北九州芸術劇場小劇場 2月17日(土)~18日(日) 3公演(予定)</p>	<p>劇場開館より、次世代の表現者発掘や育成に取り組んできた「シアターラボ」の経験を活かし、劇場ローカルディレクター2名による市民参加作品を2作品創作し連続上演。20周年の節目に、長年育成事業に携わってきた2名と市民とが向き合い、舞台芸術との出会いの機会を創出。</p> <p>【作・演出】 泊篤志、守田慎之介</p>
----------------------------------	---	---

(2) 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献する。

事業名	場所・時期等	内容等
<p>ひとまち+アーツ協働事業</p>	<p>[リサーチ・打合せ] 市内施設等 4月~ [プログラム] 北九州芸術劇場内、市内施設等 8月~12月</p>	<p>芸術分野や他領域の施設・団体と協働し、地域が抱える課題等について、長期的なビジョンを共有しながら、その解決に向かうプログラムを実施。アーティストや舞台芸術の持つ想像力・創造性を活かし、相互理解を深めながら、人とまちの新たな魅力を引き出すもの。</p> <p>【協働先】 北九州 YMCA、北九州市子ども若者応援センターYELL、児童養護施設</p>
<p>地域のアートレパトリー創造事業</p>	<p>北九州芸術劇場内、財団内各施設 4月~12月</p>	<p>劇場と北九州市を拠点とする企業・団体が協働し、オリジナルの実演芸術作品を製作し発信する事業。劇場、アーティスト、企業・団体が相互作用し「地域のレパトリーとなる独自性の高い実演芸術作品の創造」および「実演芸術の創造活動を通じた地域課題の解決」を目指すもの。令和5年度は、前年に創作した劇場の母体である北九州市芸術文化振興財団オリジナルダンス「財ダンス」を広く市内外へ発信。</p> <p>【アーティスト】 中村蓉</p>
<p>高校生のための演劇塾</p>	<p>すべて北九州芸術劇場内 [戯曲講座] 6月~7月 [演劇創作体験講習] 8月8日(火)~10日(木) [テクニカル体験講習(モギテク)] 8月19日(土)~20日(日)</p>	<p>高等学校芸術・文化連盟演劇部門北九州支部との共催で、高校生のための「演劇づくり」の基礎講座を実施。地域の演劇人や劇場スタッフを講師とした3種の体験型講座・講習を通して、未来の演劇人の創出および北九州地区高校演劇部のレベル向上を図るもの。</p>

<p>キタ Q アーティストふれあいプログラム</p>	<p>市内小・中学校、特別支援学校、特別支援学級 6月～2月</p>	<p>第一線で活躍するアーティストと市内の学校へ出かけ、演劇・ダンスのアウトリーチプログラムを実施。未来を担う子どもたちが、舞台芸術、そして多様な価値観をもつアーティストと出会いふれあうことで、創造力や表現力を育み、創造性や個性を伸ばす手助けとなることを目指すもの。</p> <p>【アーティスト】 演劇：有門正太郎、守田慎之介 ダンス：セレノグラフィカ、太めパフォーマンス ほか</p>
<p>人×劇場「キタキューブ」</p>	<p>北九州芸術劇場内 10月～1月</p>	<p>舞台芸術の力を通じた「出会い・発見・創造」をテーマに、年齢や国籍を問わず幅広い層を対象としたワークショップ・講座を実施。地域のニーズや時代に応じた多角的な企画を展開し、職場や学校、家庭などこれまでの生活圏を超え、新たな自分や価値観を発見する機会を創出するもの。</p> <p>【対象】 シニア、表現者、高校生、広く一般</p>
<p>創造支援事業 演カツ！！2023</p>	<p>北九州芸術劇場創造工房 通年</p>	<p>演劇・演舞の活動・活躍・活性＝「演カツ」の場として、劇場内の稽古場を個人または団体へ貸し出し、創造環境の支援を行う事業。地域のアーティストたちの新たな表現活動への取組や、様々な知識・ノウハウ獲得のサポートを目的として実施するもの。</p>
<p>市民劇場文化サポーター育成事業</p>	<p>北九州芸術劇場内 通年</p>	<p>劇場のミッション「劇場文化を育む」に基づき“劇場文化を応援する人たち”と位置づけ、劇場と市民が様々な関わりを結ぶ活動を実施。活動が自身の生きがいや誇りに繋がること、さらに劇場への愛着や親しみが生まれ、その輪が身近な人たちにも広がっていくことを目指すもの。</p> <p>【活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇場支援活動（情報発信、事業サポート等） ・劇場や舞台芸術全般に関する講座 ・劇場事業に関する勉強会（定期ミーティング等）

(3) 公演事業

市民に、より良質な舞台芸術を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
木ノ下歌舞伎 「糸井版 摂州合邦辻」	北九州芸術劇場中劇場 6月25日(日) 1公演 [事前トーク&レクチャー] 北九州芸術劇場創造工房 4月~6月 1回	現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する木ノ下歌舞伎の人気作(2019年初演)。唯一無二の楽曲と劇世界を放つ劇作家・演出家・音楽家の糸井幸之介と、古典作品に精通する木ノ下裕一がタッグを組み、古典の名作を再解釈し、新たな音楽劇の創作に挑んだ作品。 【作】菅専助、若竹笛躬 【監修・補綴・上演台本】木ノ下裕一 【上演台本・演出・音楽】糸井幸之介(FUKAIPRODUCE 羽衣)
ラッパ屋第48回公演 「新作(タイトル未定)」	北九州芸術劇場中劇場 7月9日(日) 1公演	北九州でも度々上演を重ね、演劇ファンはもとより、サラリーマンやOL、主婦など演劇ビギナーからも支持を集めるラッパ屋の新作公演。演劇~映像作品まで多彩な執筆で喜劇作家として高い評価を得る鈴木聡が、普通にまじめに一所懸命に生きる男女の日常を描く。 【作・演出】鈴木聡
大人も一緒に子どもたちの劇場 シリーズ2023—海外編— 「ベック」	北九州芸術劇場小劇場 7月21日(金) 2公演	小さな子どもから大人まで楽しめる世界の選りすぐり作品を上演するシリーズで、若い観客のための作品に定評のあるアンディ・マンリーの新作を上演する。鳥の歌声をベースに、環境問題にも繋がるアイデアに満ちた作品。 (おもな対象:3~6歳) 【作・出演】アンディ・マンリー 【演出】イアン・キャメロン (from スコットランド)
「劇トツ×20分」2023 チャンピオン大会	北九州芸術劇場中劇場 7月23日(日) 1公演	地域の演劇人の育成を目指し、九州各地の演劇人が集う場として平成24年度より実施。上演時間20分、登場人物3人以内というルールのもと短編演劇を上演し、審査員と観客の投票で優勝作品を決定。10周年企画として、過去の優勝団体による作品を一挙上演するチャンピオン大会を実施。 【出演団体】F's Company(長崎)、不思議少年(熊本)、ブルーエゴナク(北九州)、劇団ヒロシ軍(長崎)、劇団言魂(北九州)、万能グローブ ガラパゴスダイナモス(福岡)、PUYEY(福岡)

<p>大人も一緒に子どもたちの劇場 シリーズ 2023—海外編— 「カラフルパズル」</p>	<p>北九州芸術劇場創造工房 8月2日（水）～3日（木） 4公演</p>	<p>国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわと連携し、小さな子どもから大人まで楽しめる世界の選りすぐり作品を上演するシリーズ。いろいろな形のカラフルなクッションを転がしたりしながら、ダンサーが愉快地に飛び回る0歳から楽しめるノンバーバル作品。 （おもな対象：0～3歳）</p> <p>【作・出演】ダンセマ・ダンス・シアター（from リトアニア）</p>
<p>愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama 「Rain」</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 8月27日（日） 1公演</p>	<p>横浜の新たなダンスの発信・発展拠点 DaBY のアソシエイトコレオグラファーである鈴木竜×国際的に活躍中の現代美術家・大巻伸嗣のタッグによる企画。サマセット・モームの短編小説『雨』に着想を得た作品で、新国立劇場バレエ団プリンシパルの米沢唯が出演。</p> <p>【演出・振付】鈴木竜 【出演】米沢唯 ほか</p>
<p>「くるみ割り人形外伝」</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 9月10日（日） 1公演</p>	<p>アイデア性に富んだ表現形態で演劇の枠を更新し活躍を続ける、根本宗子の新作音楽劇。子どもたちが憧れるバレエの名作『くるみ割り人形』をベースに、お芝居、バレエ／踊り、歌／音楽を織り交ぜながら、多彩な表現者たちが舞台芸術の楽しさをフルコースで提供する作品。</p> <p>【脚本・演出】根本宗子 【音楽】小春（チャラン・ポ・ランタン） 【振付】山之口理香子</p>
<p>「エブリ・ブリリアント・シング」</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場舞台上 9月30日（土）～10月1日（日） 2公演</p>	<p>2013年にイギリスで初演以降、アメリカ・ニューヨークをはじめ世界中で翻訳上演を重ねている一人芝居の傑作。日本には2020年に上陸し、佐藤隆太が初の一人芝居として挑戦。出演者と観客のコミュニケーションによって物語が紡がれる、ユニークな観客参加型舞台。</p> <p>【原作】ダンカン・マクミラン + ジョニー・ドナヒュー 【出演】佐藤隆太</p>

<p>ケムリ研究室 no.3 「新作（タイトル未定）」</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 10月20日（金）～22日（日） 4公演</p>	<p>劇作家、演出家、音楽家など多方面で活躍するケラリーノ・サンドロヴィッチと女優・緒川たまきが2020年に始動させた演劇ユニットによる新作公演。企画、キャスティングほか、多くのパートを二人三脚で担いながら創作し、作品毎に異なる個性を発揮。</p> <p>【作・演出】ケラリーノ・サンドロヴィッチ 【出演】緒川たまき ほか</p>
<p>バットシェバ舞踊団</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 1月31日（水） 1公演 ※関連ワークショップ実施予定</p>	<p>イスラエルを拠点に、世界中で活躍するコンテンポラリーダンスカンパニーの新作。現代ダンス界のカリスマ、オハッド・ナハリンによる振付と、ダンサー達の圧倒的身体で紡がれる舞台で多くの観客を魅了し、年間公演数は約250回、観客動員は約10万人にもものぼる。</p> <p>【演出・振付】オハッド・ナハリン</p>
<p>ダンスとラップ「ありか」</p>	<p>北九州芸術劇場小劇場 2月10日（土）～11日（日） 2公演</p>	<p>国内外で躍進を続けるダンサーの島地保武と、音楽を軸にインスタレーションなど多彩な領域でも活躍するラッパーの環 ROY の初タッグ作品。全体を貫く壮大な物語と音楽に、二人が得意とする即興が織り重なり、高い完成度とLIVEのグルーヴ感が共存する稀有な作品。</p> <p>【振付・出演】島地保武 【音楽・出演】環 ROY</p>
<p>「インヘリタンス」</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 3月 2公演</p>	<p>2018年の初演以降、ロンドンやNYで数々の賞を受賞した話題作。3世代のゲイカップルを通して、人間は何を受け継ぎ、何を次世代に伝えていくのかを描く2部構成の巨編。「かもめ」「お気に召すまま」など独自の先鋭的演出で名優たちからの支持が高い演出家であり、北九州市出身でもある熊林弘高が挑む。</p> <p>【脚本】マシュー・ロペス 【演出】熊林弘高</p>

(4) 提携・協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業連携等により、様々なジャンルの公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
【提携】 「劇トツ×20分」2022 優勝公演 PUYEY 5 th Season「おんたろうズ」	北九州芸術劇場小劇場 4月22日(土)～23日(日) 3公演	「劇トツ×20分」2022で優勝し小劇場での上演権を獲得した団体による本公演。福岡市を拠点に活動する演劇的ユニット PUYEY が本公演として劇場に初登場。 【作・演出】高野桂子
【提携】 夏木マリ 印象派NEO vol.4 「ピノキオの偉烈」	北九州芸術劇場中劇場 6月10日(土)～11日(日) 2公演	夏木マリがライフワークとする印象派NEOの新作。出演に土屋太鳳を迎え、童話の残酷性と現代社会へのアンチテーゼをコンセプトに「ピノキオ」を題材とした作品を上演。 【演出】夏木マリ 【振付】井手茂太、小尻健太 【出演】土屋太鳳、マメ山田、Mari Natsuki Terroir (マリナツキテロワール)、夏木マリ
【協力】 パルコプロデュース 2023 「橋からの眺め」	北九州芸術劇場大ホール 9月30日(土)～10月1日(日) 2公演	【作】アーサー・ミラー 【演出】マリア・フリードマン
【提携】 イデビアン・クルー 「幻想振動」	北九州芸術劇場小劇場 10月7日(土)～8日(日) 3公演 ※関連ワークショップ実施予定	“六畳一間”の空間を舞台に、シンプルにして巧みな設計の美術と、ダンサーの身体によって様変わりする風景を創出するダンス作品。2019年初演作の再演。 【振付・演出】井手茂太 【出演】斉藤美音子、井手茂太、ワークショップダンサー
【提携】 飛ぶ劇場「2022年(仮)」	北九州芸術劇場小劇場 11月10日(金)～12日(日) 4公演	北九州を拠点に結成 35年を超える老舗劇団、飛ぶ劇場の新作公演。時代を鋭く切り取る社会性とエンターテインメント性の高さで老若男女に人気を博す。 【作・演出】泊篤志
【共催】 JCDN「Choreographers 2023」	北九州市芸術劇場小劇場 11月 2公演	NPO 法人ジャパンコンテンポラリーダンスネットワークとの共催事業。若手振付家に焦点を当て、全国および地域の新進気鋭の振付家作品を連続上演。トークも実施。

【提携】 有門正太郎プレゼンツ 「ウツるんるんです（仮）」	北九州芸術劇場小劇場 12月1日（金）～3日（日） 4公演	「くだらない事を面白く」、「じいちゃんばあちゃんパパにママまで楽しめる作品」をテーマに作品作りを行う、北九州発のコント集団の新作公演。 【作・演出】有門正太郎
【提携】 Co.山田うん 「新作2023」	北九州芸術劇場中劇場 12月10日（日） 1公演	国内外でパフォーマンスを行うダンスカンパニー、Co.山田うんによる新作。クラシックの名曲「ノクターン」を使用し、目眩い群舞と生演奏によるドラマチックなダンス作品。 【振付・演出】山田うん
【提携】 鈴木ユキオプロジェクト 「刻の花」	北九州芸術劇場小劇場 12月23日（土）～24日（日） 3公演	ダンスの本質を問い続け、独自の振付理論を展開する振付家・ダンサーの鈴木ユキオによるプロジェクト。瞬間を切り取る写真のように、身体で「時」と対峙するダンス作品。 【振付・演出】鈴木ユキオ
【提携】 劇団こぶく劇場 「ロマンス」	北九州芸術劇場小劇場 1月13日（土）～14日（日） 3公演	宮崎県三股町を拠点に全国で活躍する劇団が初登場。自然・人・暮らしなどを題材に創作を重ねてきた劇団が「ほんとうに大切なものは何か」を深く見つめる意欲作。 【作・演出】永山智行
【提携】 ブルーエゴナク 「新作（タイトル未定）」	北九州芸術劇場小劇場 2月2日（金）～4日（日） 4公演	商店街やモノレールなど劇場外での創作や、県外での滞在制作、音楽家とのコラボレーションなど、垣根を越えた活動を展開する北九州発・ブルーエゴナクの新作公演。 【作・演出】穴迫信一
【提携】 MONO 「新作（タイトル未定）」	北九州芸術劇場小劇場 3月16日（土）～17日（日） 3公演	軽妙な笑いの中に、現代社会や人間の深層心理を織り込む“会話劇”で人気の関西の老舗劇団 MONO の新作公演。作・演出の土田英生は、TV や映画などの脚本家としても活躍。 【作・演出】土田英生

(5) 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスをを行い、市民の文化活動を支援するほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
創造支援事業 演カツ！！2023 <再掲>	(2) 学芸事業 参照	

「劇トツ×20分」2023 チャンピオン大会 ＜再掲＞	(3) 公演事業 参照
「劇トツ×20分」2022 優勝公演 PUYEY5 th Season「おんた ろうズ」 ＜再掲＞	(4) 共催・提携・協力事業 参照
飛ぶ劇場「新作」 ＜再掲＞	(4) 共催・提携・協力事業 参照
有門正太郎プレゼンツ「ウツ るんるんです(仮)」 ＜再掲＞	(4) 共催・提携・協力事業 参照
ブルーエゴナク「新作」 ＜再掲＞	(4) 共催・提携・協力事業 参照

(6) 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
第53回 北九州市ファミリー劇場 一角笛シルエット劇場	市内市民会館(門司・戸畑・ 若松、黒崎ひびしんホール、 北九州芸術劇場大ホール) 5月22日(月)～29日(月) 7公演	劇団角笛による、幻想的で色鮮やかな影絵劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供。
人形浄瑠璃「文楽」	戸畑市民会館大ホール 3月3日(日) 2公演	太夫、三味線、人形の三位一体が織りなす情緒豊かな日本の伝統芸能として、ユネスコ世界無形文化遺産にも登録された日本の伝統芸能「文楽」の公演を実施。

(7) 20周年特別事業

開館20周年の節目に、「開かれた劇場」として市民が劇場や舞台芸術をより身近に感じ親しみを深める企画を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
市民参加でつくる演劇 2024 キタゲキ劇団 「新作(タイトル未定)」(仮) ＜再掲＞	(1) 創造事業 参照	
キタゲキオープンデイズ	北九州芸術劇場内 8月11日(金・祝) ～12日(土)	“劇場文化祭”をテーマに、大ホール・中劇場・小劇場、および市民ギャラリーやプレイガイドを備える5Fフロアまで劇場全体を開放。地域の表現者等も迎え、市民が劇場や舞台芸術に気軽に触れながら親しみを深める、多彩な催しを実施。

2 音楽文化の振興

北九州市の音楽文化の中核施設である響ホールにおいて、「創る(創造事業)」「聴く(公演事業)」「育つ(育成事業)」「支える(支援事業)」「つながる(連携事業)」をコンセプトに事業を展開し、市民に優れた音楽文化の提供を行う。

(1) 響ホール事業

ア 創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを制作し、公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
0才からの音楽会 ～オーケストラとやみの女王～	[本公演] 響ホール 6月10日(土)・11日(日) [地域訪問コンサート] 市内施設(調整中)	響ホール室内合奏団と響ホールとの共同企画による公演を実施。泊篤志氏の脚本・演出によるストーリー仕立ての音楽会。 ※令和4年度から延期
0才からの親子で楽しむ クラシックコンサート	[本公演] 響ホール 12月9日(土) [地域訪問コンサート] 市内小学校ほか(調整中) 12月7日(木)～8日(金)	クリスマスシーズンに、0歳から親子で楽しめるクラシックコンサートを企画制作する。子どもたちに生演奏の魅力を伝えるため、ヴァイオリニストの奥村愛が制作協力。

イ 公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
響ホール開館30周年記念 ガラ・コンサート 篠崎史紀、双紙正哉、南紫音、 岩倉万紀子[ヴァイオリン]、 長哲也[ファゴット]、田中香織 [クラリネット]他16名	響ホール 7月30日(日)	響ホールの開館30周年を記念し、開館日である7月30日にガラ・コンサート(祝賀音楽会)を行う。 本市出身者や国際音楽祭オリジナルオーケストラのメンバーなど、響ホールにゆかりのあるアーティストによるスペシャルコンサート。
響ホールリサイタルシリーズ ①小菅 優[ピアノ] ②ダニエル・オッテンザマー [クラリネット] シュテファン・コンツ[チェロ]、 クリストフ・トラクスラー [ピアノ] ③上野耕平[サクソフォン] 三浦一馬 [バンドネオン] 山中惇史 [ピアノ] ④弦楽アンサンブル「石田組」 石田泰尚[ヴァイオリン]他 ⑤樫本大進 [ヴァイオリン] エリック・ル・サージュ [ピアノ]	[本公演] 響ホール ①6月24日(土) ②7月1日(土) ③9月2日(土) ④12月3日(日) ⑤1月27日(土) [学校訪問ワークショップ] 市内吹奏楽部(調整中) ③9月3日(日)	国内外で活動する一流アーティストによる2時間のコンサート。 クラシック音楽を中心に、多様なジャンルの公演を実施する。 本公演のほか、上野耕平[サクソフォン]による吹奏楽部ワークショップを実施する。

<p>ワンコインコンサート</p> <p>①二村裕美[ヴァイオリン] ②瀧本実里[フルート] ③パリの散歩道 正戸里佳[ヴァイオリン] ④梅崎 秀[ピアノ]</p>	<p>[本公演] 響ホール ①5月25日(木) ②7月14日(金) ③9月13日(水) ④1月31日(水)</p> <p>[地域訪問コンサート] 市民センター、 市内小学校ほか(調整中) ①5月24日(水) ②7月13日(木) ③9月12日(火) ④1月30日(火)</p>	<p>平日(昼)の響ホールを活用し、トークを交えた45分間のコンサートを実施。(③「パリの散歩道」は1時間1,000円のスペシャルコンサート)新たな顧客層を開拓し、クラシック音楽の魅力を伝えるとともに、本格的なクラシック音楽を聴くことができる響ホールのPRを行う。</p> <p>また、“より地域に根差し、地元色を打ち出したワンコインコンサート”を目指し、北九州出身の演奏家を起用するなど(①・④)、地元演奏家の支援及び連携、そして地域の音楽文化の振興を図る。</p> <p>併せて、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指し、地域訪問コンサートを実施する。</p>
--	---	---

ウ 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行う。

事業名	場所・時期等	内容等
<p>北九州市少年少女合唱団 育成事業</p>	<p>[練習] 戸畑市民会館ほか 毎週土曜日14時から [公演] 第49回定期演奏会 戸畑市民会館大ホール 12月17日(日)</p>	<p>合唱団の活動を通じて、団員の合唱技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。</p>
<p>北九州市ジュニアオーケストラ 育成事業</p>	<p>[練習] 大手町練習場 毎月3回日曜日9時から [公演] 第40回定期演奏会 北九州芸術劇場大ホール 8月20日(日) 第26回スプリングコンサート 北九州芸術劇場大ホール 3月31日(日)</p>	<p>オーケストラ活動を通じて、団員の演奏技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。</p>
<p>第47回北九州少年少女合唱祭</p>	<p>戸畑市民会館大ホール 7月2日(日)</p>	<p>市内及び近郊の少年少女合唱団による合唱の祭典。</p>
<p>中学校合唱講習会</p>	<p>響ホール 7月24日(月) ～25日(火)</p>	<p>北九州市中学校音楽教育研究会との共同主催にて、中学生及び合唱団のための合唱講習会を実施する。 【講師】田中安茂(合唱指揮者)</p>

合唱組曲「北九州」演奏会	北九州ソレイユホール 2月18日（日）	ふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会。 【出演（予定）】北九州をうたう会、市内少年少女合唱団、市内中学・高校合唱部、九州交響楽団、小倉祇園太鼓ほか
第44回北九州市レディースコーラスフェスティバル	戸畑市民会館大ホール 3月2日（土）	市内及び近郊の女声合唱グループ約50団体（予定）が出演する合唱の祭典。
アーツスタッフ養成講座 ①ホスピタリティ・カスタマーサポート研修 ②フロントスタッフ入門講座	響ホール ①5月16日（火） ②10月～11月（調整中）	音楽文化の振興を担う人材育成を図る。 ①多様なサポートが必要なお客様への理解と対応方法を学ぶための研修を実施する。 ②フロントスタッフの役割を理解し、業務を学ぶ公開講座を開催する。
早期教育プロジェクト 2023 in 北九州	響ホール 1月13日（土）	東京藝術大学音楽学部の講師による公開レッスンを実施する。 【講師】未定（ピアノ）
地域訪問コンサート	市民センター、市内小学校ほか 通年	クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、リサイタルシリーズ、ワンコインコンサート等の出演者による地域訪問コンサートを実施する。
ハープ研究会	[レッスン] 響ホール 月2回（40分/回）	ハープに興味を持つ市民に対し、ハープ演奏を学ぶ機会の提供を目的として実施する。
チェンバロ教室	[レッスン] 響ホール 月2回（40分/回）	響ホールのチェンバロを市民に広く周知するとともに、チェンバロ演奏を学ぶ機会の提供を目的として実施する。

エ 支援事業

市民の活動発表の場の提供等を通じて音楽活動を支援し、地域文化の振興を図る。

事業名	場所・時期等	内容等
第47回北九州少年少女合唱祭 <再掲>	ウ 育成事業 参照	
第44回北九州市レディース コーラスフェスティバル <再掲>	ウ 育成事業 参照	
響ホールお迎えバス	響ホール 通年	貸館時に、八幡駅発のお迎えバス (9人乗り)を運行し、響ホールへ のアクセスの利便性向上を図る。 (主催者一部負担3,000円)

オ 連携事業

様々な団体等と交流・連携・協働しながら、音楽を中心とした芸術文化の振興や芸術文化の力を活かしたまちづくりに取り組む。

事業名	場所・時期等	内容等
ひびきつながるプロジェクト	響ホールほか 通年	「地域と『つながる』『つくる』『考える』」をキーワードに、これまで八幡地域で実施していた「YAHATA MUSIC PROJECT」を発展させ、区外も含めたプロジェクトを展開する。 ①「つながる」…まちの小さな演奏会の実施(区外への展開) ②「つくる」…「やはたアートフォレスト」での施設間連携(区内での連携) ③「考える」…大学生との共同企画

(2) 北九州国際音楽祭事業
ア 有料プログラム

事業名	場所・時期等	内容等
小曽根真[ジャズピアノ] アヴィシャイ・コーエン[ベース]	響ホール 10月14日(土)	ジャズシーンからクラシック音楽までジャンルを越えて世界で活躍する二人が創り出す唯一無二のアカousticコンサート。本公演は日本・イスラエル外交関係樹立70周年記念事業に参加予定。
パーヴォ・ヤルヴィ指揮 チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 ブルース・リウ[ピアノ]	北九州ソレイユホール 10月15日(日)	NHK交響楽団初代首席指揮者であり日本での知名度も高いパーヴォ・ヤルヴィが首席指揮者を務める歴史ある楽団。本楽団の公演は2021年度に予定していたがコロナウイルス感染症拡大の影響から招聘できず中止となった。ソリストに第18回シヨパン国際ピアノ・コンクールで優勝したブルース・リウを迎え実施する。
南紫音[ヴァイオリン] 福田悠一郎[ヴァイオリン] 佐々木亮[ヴィオラ] 横坂 源[チェロ]	響ホール 10月29日(日)	響ホール開館30周年を記念し、ホールの音響特性である「室内楽」に最適な環境を生かして、本市出身者の南紫音を中心とした弦楽四重奏による公演を実施する。
サロン・コンサート 笹沼 樹[チェロ] 菅沼希望[コントラバス]	西日本工業倶楽部 11月1日(水)	指定重要文化財である西日本工業倶楽部を会場とする例年人気のコンサート。マイスター・アールト×ライジングスターオーケストラメンバーによるコンサートを開催する。
アレクサンダー・ガジェヴ [ピアノ]	響ホール 11月4日(土)	第18回シヨパン国際ピアノ・コンクール第2位及びソナタ最優秀演奏賞を受賞し、今最も注目される若手ピアニストであるアレクサンダー・ガジェヴのピアノリサイタル。
マイスター・アールト×ライジングスターオーケストラ コンサートマスター：篠崎史紀	響ホール 11月23日(木・祝)	本市出身の特別コンサートマスター篠崎史紀が率いるオリジナルオーケストラ。国内主要オーケストラのトップ奏者からなるマイスター組と、新進気鋭の若手奏者からなるライジング組により構成される、音楽祭の看板企画。
アレクサンドル・カントロフ[ピアノ] ズラトミール・ファン[チェロ]	響ホール 12月10日(日)	第16回チャイコフスキー国際コンクール覇者の2人によるデュオリサイタル。

イ 教育プログラム

未来を担う子どもたちに、音楽の素晴らしさを体験してもらい、情操豊かな人間形成の一助となることを目的に実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
中学生の鑑賞教室1・2 (教育委員会受託事業)	響ホール 11月9日(木)	未来を担う青少年に一流の音楽に触れてもらうため、有料プログラムに出演する演奏者とナビゲーター(音楽評論家)によるレクチャー付きコンサートを実施する。
中学生の鑑賞教室3・4 (教育委員会受託事業)	響ホール 12月7日(木)	未来を担う青少年に一流の音楽に触れてもらうため、演奏家によるレクチャー付きコンサートを実施する。
小学生の鑑賞教室	(調整中) 10月または11月	音楽祭出演者による訪問コンサート。“生の音楽を聴く、体感する”を主眼に実施する。演奏者による楽器や曲目の話を交えながら、分かりやすく楽しめる内容とする。
幼稚園の訪問コンサート	(調整中) 10月または11月	「小学生の鑑賞教室」と同様のメンバーによる訪問コンサート。楽器の話を交えるなど、園児が楽しく聴けるようプログラムを工夫して進行する。

ウ 特別プログラム

広く市民が音楽に親しむ機会を提供し、公演事業では十分に行き届かない、普及、啓発、振興、教育などを担うプログラムとして展開する。

事業名	場所・時期等	内容等
ヴァイオリンが上手くなる ひみつ	響ホール 7月28日(金)	本市出身の特別コンサートマスター篠崎史紀によるヴァイオリン愛好者を対象としたレッスンを行い、その様子を一般公開する。
まるっとEnjoy! 響ホールで夏休み	響ホール 7月29日(土)	3歳以上対象で入場無料。気軽に参加して本格的なクラシック音楽鑑賞などを楽しめるイベント。響ホールと音楽祭を身近に感じてもらうことを目的に開催する。
楽しみかた聴きどころ講座	(調整中) 6月または7月	音楽祭ラインナップをもとに、クラシック音楽の楽しみ方や聴きどころを初心者の方にも楽しく、分かりやすく紹介する。
プレ・ステージコンサート	響ホール 11月23日(祝)	篠崎史紀がMCを務め、開演前にオーケストラメンバーにより金管・木管アンサンブル、弦楽合奏などのプレ・コンサートを行う。

オーケストラレクチャー &リハーサル見学	北九州ソレイユホール 10月15日(日)	海外オーケストラ公演をより深く楽しく鑑賞できるよう、開演前に専門家によるレクチャーとリハーサル見学を行う。
スタンプラリー	音楽祭有料プログラム会場 音楽祭期間中	3つ以上の対象コンサートのスタンプを集めた方に抽選で、出演者のサイン色紙などをプレゼントする。来場者の本音楽祭への愛着心を育て、リピーターの増加を目指す。

エ 支援事業

市民企画事業実施に取り組む団体を支援することで、広く市民が音楽に親しむ機会を提供し、地域の音楽文化の振興に寄与する。

事業名		場所・時期等	内容等
湧き上がる 音楽祭 in 北九州	コンチェルト 演奏会	響ホール 7月22日(土)	若い演奏者へコンチェルト演奏の機会を提供し、その才能を広く紹介する。この舞台経験を生かした活動や今後の飛躍が期待される人材の発掘と育成を目指す。
	オーケストラ 演奏会	戸畑市民会館大ホール 8月5日(土)、26日(土)	新生オーケストラや、幅広く演奏の機会を求めるオーケストラに、その機会を提供する。
	独創企画演奏会	北九州芸術劇場小劇場 7月28日(金) 8月25日(金)	従来コンサートスタイルにとらわれない斬新な企画・制作・公演運営を担う者(団体)を公募する。地元音楽界のプロデュース力を育成する。
	室内楽演奏会	戸畑市民会館中ホール 8月9日(水)、12日(土)、18日(金)、19日(土)	日頃から研鑽に励む優れた地元演奏家に、その実力に相応しいステージを提供して成果を披露してもらい、今後の活動の弾みとなるよう支援する。
マラソン・コンサート	響ホール 10月8日(日)	音楽祭の主会場である響ホールにてプロ・アマ問わず演奏するイベント。音楽祭をより身近なものに感じてもらうとともに、音楽祭の発展の一助となることを目的とする。	
街かどコンサート	ウェルとばた交流プラザ 9月24日(日)	公募による市民参加コンサート。プロ・アマ問わず出演者を公募し、共にステージを分かち合い、道行く人も含めて音楽の愉しさを共有し理解を深め合う“場”を提供する。	

オ 協賛事業

本市におけるクラシック音楽文化等を盛り上げることを目的として、9月～12月に北九州市内の施設で実施されるクラシック音楽等のコンサートを対象に、北九州国際音楽祭協賛事業(冠事業)の公募を実施。

3 芸術文化情報の収集及び提供事業

地域の芸術文化活動や公演の情報提供を行う。

事業名	場所・時期等	内容等
北九州芸術劇場&響ホール 「情報誌Q」の発行	年3回発行 7・11・3月10日号 各90,000部 (予定)	北九州芸術劇場・響ホールで行われる 公演情報をはじめ、実施事業について紹 介。
芸術文化情報センターの運営	北九州芸術劇場内	チケット&アートスペース『Q- station』及び市民ギャラリーの運営、 ホームページ等で公演の情報提供等 を行う。
北九州芸術劇場&響ホール 会員制度 「チケットクラブQ」 「KICPACメンバーズ」	—	市民により親しまれる身近な劇場・音 楽堂を目指し、令和2年4月より会員 制度をリニューアル。 【特典】公演など劇場・響ホール事業 に関する情報の提供、チケット先行 予約、ポイント積立てによる割引等。
文化情報誌 『かるかる』の発行	V 地域文化の情報提供 参照	

4 文化芸術活動活性化支援事業

(1) 支援事業

「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」（北九州市文化振興計画
基本理念）の実現に向け、市民の自主的な文化芸術活動や、国際文化交流に関する取組等に対
して、経費の一部を助成する。

(2) 総合相談窓口事業

市内で活動する、あるいは活動を検討している文化芸術関係者（個人・団体）のさまざまな
声に寄り添い、一緒に考え、支援し、解決していくための無料の専門相談窓口の運営を行う。

II 芸術文化施設の管理

北九州市の指定管理者として、各文化芸術施設の管理を実施する。

施設名	主要施設	期間
北九州芸術劇場	大ホール、中劇場、小劇場、創造工房、芸術文化情報センター（チケット&アートスペース『Q-station』、市民ギャラリー）	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（指定管理）
響ホール	大ホール、リハーサル室、研修室、練習室1・2	
大手町練習場	大練習室、中練習室1・2、小練習室1~8、会議室1~3	

III 市有施設の維持管理

北九州市の指定管理者として、響ホールが入居する市有施設（北九州市立国際村交流センター）の一体的な管理運営を行う。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、アジア低炭素化センター、駐車場	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（指定管理）

Ⅳ 埋蔵文化財の発掘調査研究

北九州市及び民間開発業者などからの委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存等を行い文化の振興に寄与する。

1 埋蔵文化財の発掘調査及び整理

事業名	遺跡名	区分	面積㎡	遺跡の概要
令和5年度 旦過地区土地区画整理事業	魚町遺跡	発掘	1,000	城下町跡
令和5年度 中貫貫弥生が丘1号線道路改築事業	貫・裏ノ谷遺跡	発掘	1,000	集落跡
令和5年度 折尾土地区画整理事業（東側地区）	末里遺跡	発掘	700	集落跡
志井学童保育クラブ新築工事	志井雀木遺跡	発掘	120	集落跡
長野城緑地園路整備工事	長野尾登・角屋敷遺跡	発掘	100	集落跡
長野川護岸工事（31-1）	長野角屋敷遺跡ほか	発掘	120	集落跡
横代川河川整備工事	竹下石棺群	発掘	850	集落跡
宅地造成（上石田三丁目）	石田遺跡第7地点	発掘	1,868	集落跡
宅地造成（高野三丁目）	高野遺跡	発掘	608	集落跡
事務所建設（室町二丁目）	室町遺跡	発掘	210	城下町跡
宅地造成（下石田一・二丁目）	下石田中尾遺跡、石田遺跡	発掘	3,000	集落跡
宅地造成工事（長行西二丁目）	能行遺跡	発掘	3,000	集落跡
住宅建築（下貫四丁目）	下貫遺跡	発掘	1,067	集落跡
マンション建設（京町四丁目）	京町遺跡	発掘	191	城下町跡
令和5年度 折尾土地区画整理事業（東側地区）	末里遺跡	整理	0	集落跡
令和5年度 中貫貫弥生が丘1号線道路改築事業	貫・裏ノ谷遺跡第2地点	整理	0	集落跡
令和5年度 旦過地区土地区画整理事業	魚町遺跡第3地点（1区）	整理	0	城下町跡
宅地造成（永犬丸二丁目）	宮ノ谷石棺群第2地点	整理	0	集落跡
住宅建設（田原三丁目）	畠山遺跡 M 地点	整理	0	集落跡
マンション建設（紅梅一丁目）	紅梅（A）遺跡第6次調査	整理	0	集落跡
宅地造成（長行西一丁目）	能行遺跡第5地点	整理	0	集落跡
宅地開発（長尾四丁目）	八旗神社古墳群第3地点	整理	0	集落跡

住宅建設（紺屋町）	紺屋町遺跡第2地点		整理	0	城下町跡
共同住宅建築（山王二丁目）	山王遺跡第3地点		整理	0	集落跡
共同住宅建築（守恒本町一丁目）	守恒遺跡第15地点		整理	0	集落跡
集合住宅建築工事（室町二丁目）	室町遺跡第14地点		整理	0	城下町跡
アパート建築（横代北町三丁目）	稗田川遺跡第5地点		整理	0	集落跡
宅地造成（葛原東五丁目）	葛原（C）遺跡		整理	0	集落跡
マンション建設（蜷田若園三丁目）	中条遺跡		整理	0	集落跡
合 計		発掘 14件	整理 15件	13,834	

- 2 埋蔵文化財調査報告書の刊行
能行遺跡第5地点など 全8冊・9事業
- 3 埋蔵文化財に関する調査研究
年報及び研究紀要の発刊
- 4 埋蔵文化財に関する普及活動
埋蔵文化財に関する市民の理解を深める。

事業名	場所・時期等	内容等
速報展	年3回程度	最近の調査で出土した埋蔵文化財を展示する。
遺跡発掘報告会	場所：未定 令和6年3月3日（日）	令和5年度に実施した発掘調査のうち、話題性の高い遺跡などを紹介する。
現地説明会	場所・時期：未定	市民を対象として、話題性が高く重要な遺跡で発見された遺構や出土遺物について、学芸員が現地で説明を行う。
市民考古学講座	北九州市立埋蔵文化財センター 時期：未定	市民を対象として、北九州市内の遺跡および遺構、遺物をテーマにとりあげ、考古学や地域の歴史について学ぶ講座を行う。
こども考古学講座	北九州市立埋蔵文化財センター 時期：未定	小学生～中学生を対象に、北九州市内の遺跡や遺物に関連した工作や作業を通じて、考古学や地域の歴史を楽しく学ぶ体験型講座を行う。

5 埋蔵文化財センターの維持管理

施設名	主要施設	期間
埋蔵文化財センター	展示室、整理作業室、事務室、収蔵庫	令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

V 地域文化の情報提供

1 北九州市芸術文化情報サイト「かるぽー」(ポータルサイト)管理運営

閲覧しやすく使いやすさを備えたポータルサイトを活用することで、市内文化施設や文化芸術活動を行っている団体や個人を応援する仕組みなどの情報を、これまで以上に一元的に広く市民に発信し、市民の「アートがそばにある暮らし」の実現を目指す。
スマートフォン、タブレット端末、パソコンなどさまざまなデジタルデバイスに対応したレスポンスデザインを搭載し、多様な催事情報を提供する。SNS との連動により、日々閲覧しやすくなるようコンテンツの充実を図り、幅広い層に向けて情報発信を行う。

2 北九州市芸術文化情報誌『かるかる』の刊行事業

北九州市芸術文化情報サイト「かるぽー」で公開している市内文化芸術・社会教育施設等での催事情報をまとめてフリーペーパー（冊子）として奇数月に年6回、定期刊行する。冊子は劇場や音楽ホール、市民センターなどの文化施設をはじめ、モノレール各駅・JR駅（一部）などに設置し無料配布する。

また、各施設での入手が困難な高齢層など、送料負担が可能な希望者には、郵送での配布に対応する。

事業名	場所・時期等	内容等
文化情報誌『かるかる』の刊行	年6回発行 5・6月号 7・8月号 9・10月号 11・12月号 1・2月号 3・4月号 各5,000部	市民を含む北九州都市圏向けに、市内文化芸術・社会教育施設等で実施となる催事について、2ヵ月分をまとめて紙媒体で情報提供を行う。

3 書籍の販売等

北九州市からの受託を含め、北九州市に関する各種の書籍を財団及び市内書店等で販売する。取扱い書籍は次のとおりである。

「北九州市史」（全10巻）、「北九州むかしばなし」、「きたきゅう発掘！考古学ノート」、「続 海峡の風」、「火野葦平とゆかりの人びと」、「北九州市の野鳥たち」、「川が変えたまち」、「門司港レトロ物語」、「ひろば北九州バックナンバー」